

☆はじめに☆

小さな足あと保育園が開園して三か月経ちました。当初は子どもたちも園も保護者の皆さまも手探りの中でのスタートでしたが、今はざわついた感じもなく、あったかく、にぎやかに過ごしております。さて、開園し三か月の節目を迎えましたので、保護者の皆さまよりご指摘いただいた主だった事項についてお知らせします。様々なご指摘は園にとっても財産であると認識していますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。なお、指摘いただいた方へのご説明と園としての対応や改善を行っていることを申し添えます。

- ・入園式での混雑時に保育士が機敏な対応をしていなかった。
- ・子どもが環境の変化で馴染めていない。縦割り保育が本人たちのプレッシャーになっているのではないか。
- ・主食代について内訳等明確化してほしい。
(継続検証中)
- ・給食試食会時に保育士が配膳にまわり、子どもに付いていなかった。
- ・アレルギー食の対応は対象物を除去するのではなく、それに代わる材料で補完してほしい。
- ・首回りや背中にゆとりのある服装や長髪そのままでの保育は環境衛生上適さないのではないか。

FootMarkLetter.8

☆達成感と努力☆

保育園では、子どもたちの成長や性格を良く観察した上で保育を実践しています。画一的に何かをやるという保育ではなく、その子の成長過程に見合った保育を目指しています。当たり前ですが子どもたちはまだまだ幼く、心も身体も未発達です。同じ3歳児、同じ4歳児であっても誕生日の違いや、その子の成長度合い(身体的発達も心の発達も個人差があります)によっても様々な事が違ってきます。同じ運動をするにも、その運動量や段階(ペース)は変わってきます。うちの子は・・・と心配はなさないで下さい。特に運動面は目につきやすく気にかかるかもしれませんが、子どもたちには個々の成長段階がありますので、温かく見守ることが大切です。また、運動、身体面とともに、子ども達は心も成長しています。運動、遊び(歌や器楽など)でも、何かが出来たということも大切ですが、出来るまでにどのような過程を経たかということが重要と考えます。子どもたちも自分で努力し、達成した事が自信になり、成長していきます。その過程において、「頑張る」という事が重要です。その努力や達成感が、大人になった時の本当の原動力として力を発揮します。子どもの時に努力や、達成感を十分味わっていないと、成熟した大人にはなりません。子どもたちを長い目で見守り、成長の後押しをしてあげましょう。

☆ ばっかり食べて? ☆

話題になって久しいですが、再確認の意味で・・・この「ばっかり食べ」ですが、文字どおり「最初にご飯ばっかり食べてしまい、次はお味噌汁ばっかり、最後におかずばっかり」と一品ずつ食べ、食べ終わると次の一品を食べるとい、一つのものばっかり食べる食べ方です。お子さんは違いますか? 極端な例では、お寿司屋さんでウニを食べるとき「最初にウニの身だけ、次に軍艦のノリだけはがして、最後にシャリだけ」食べる人(子)もいるとか。原因としては「おかずが薄味になり、ご飯で薄める(調味する)必要がなくなったことや、一人での食事(孤食)が増え、自分の好きなように食事する(個食)習慣が増えた等諸説あるようです。口の中で味を調和させる「口内調味」は日本人独特のものだとも言われています。この繊細な感覚を大切に園では日本人の食の基本である「三角食べ(う～ん、懐かしい)」をベースに指導していますので、ご家庭でもお気づきの場合は「だめだよ」とひと声お願いします。もちろんその前にご自分も点検を・・・

☆行事予定☆

- 1(水) お誕生会
- 4(土) 夏祭り
- 10(金) 身体測定
- 21(火) クッキング
- 24(金) 避難訓練

☆看護師より☆

残念なことに毎年死者を複数名出しているこの熱中症、とても厄介なものなので今一度おさらいします。子どもも大人もご注意を!!

【定義】30℃を越す暑い時期に屋内外にいても体内の水分や電解質のバランスが崩れて元気がなくなったりぐったりします。高温環境に長時間置かれた場合体温調節の機能が低下し、熱が体内に滞留した状態で、その程度によって様々な症状が出ます。それらを総称して「熱中症」といいます。

【症状】汗を異常にかき、意識が薄れる。手足、腹部筋肉が痙攣する。このような症状から中枢神経が侵され、場合によっては死にいたることも。

【予防】外出時は帽子を着用する。長時間日なたに出ないで休息する。一度に多くではなく、水、麦茶、イオン飲料等をこまめに補給する・・・以上今年46歳の看護師河村でした。

スペースの関係で次号にて自己紹介させていただきます。お子さんのことで気になることがあればお気軽にどうぞ!! 子どもたち大好き!!